

令和7年4月1日
群馬県立館林高等学校

令和7年度 学校運営方針【定時制】

校長 委文 義之

学校運営方針

- ・「過去は変えられないが、未来は変えられる」という信念のもと、自己と社会との関わりを考え、「働きながら学ぶ」ことの意義や積極的に社会に参画する意識を理解させ、地元の地域・社会から信頼される学校を目指す。
- ・教育目標に掲げた2つの「人間の育成」を目指して、教職員が生徒一人ひとりに寄り添い、丁寧な指導により生徒が学ぶ喜びを経験し、自己肯定感を向上させ、社会に貢献できる力を育成する。
- ・教職員においては、館高職員チームの一員としての自覚を持ち、常に情報共有を図りながら、自らの役割を自覚し、組織的に指導を行う。同時に、自らの働き方を意識し、特に心と体の健康には十分に留意する。

【教育目標】

- 1 基礎学力と道徳心を備え、信頼され、社会に貢献できる自立した人間を育成する。
- 2 就業と学業を両立し、自己管理能力と豊かな人間性を備えた人間を育成する。

【教育方針】

- 1 基本的生活習慣の確立とマナー意識の向上を図る。
- 2 学習環境の整備に努め、基礎学力の定着を図る。
- 3 キャリア教育を推進し、勤労観・職業観を育てる。
- 4 特別活動や部活動の活性化を図る。
- 5 自己管理能力の育成に努め、安全指導を徹底する。
- 6 個に応じた教育相談の充実を図る。
- 7 個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、ICTを積極的に活用する。
- 8 教育活動全体を通して、自己有用感・自己肯定感を育む指導を心がける。

【グラデュエーション・ポリシー】

- ・習得した基礎学力を活かし、社会的自立を実現する力
- ・多様な人々と向き合い、自他の価値を尊重する態度

【カリキュラム・ポリシー】

- ・生徒一人ひとりの実態に対応した教育活動を推進する。
- ・基礎・基本を繰り返し着実な進歩を実感できる学習
- ・主体性・協働性を育むための学年を越えた交流活動（総合的な探究の時間・特別活動等）

【アドミッション・ポリシー】

- ・新たな気持ちで高校生活を送り、自らの在り方を問い直し成長する意欲のある生徒
- ・学ぶことを基礎から見直し、社会生活の中で活かそうとする意欲のある生徒
- ・社会を構成する一員として、自立し自ら道を切り開こうとする意欲のある生徒